

【施設状況】

グループ名称	勤労青少年ホーム(中部、北部、南部)、中高年齢労働者福祉センター(サンライフ長野)										
指定管理者名	協同組合長野シーアイ開発センター					法人番号	9100005001363				
所管課	主	140300	商工労働課	副							
構成施設	1885	中部勤労青少年ホーム									
	1887	北部勤労青少年ホーム									
	1888	南部勤労青少年ホーム									
	1886	中高年齢労働者福祉センター(サンライフ長野)									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・北部勤労青少年ホーム … 講習室、和室、調理実習室、談話室、体育館 ・中部勤労青少年ホーム … 講習室、和室、調理実習室、談話室、体育館 ・南部勤労青少年ホーム … 講習室、和室、調理実習室、談話室、体育館 ・中高年齢労働者福祉センター … 会議室、和室、談話室、体育館、トレーニングルーム 										
施設設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホーム … 勤労青少年の福祉の増進及び健全な育成を図る。 ・中高年齢労働者福祉センター … 中高年齢労働者の雇用の促進及び福祉の向上を図る。 										
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、利用者が交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。										
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労青少年ホーム … 各種講座の開催、施設の貸出、クラブ等勤労青少年の自主的な活動の支援 ・中高年齢労働者福祉センター … 各種講座の開催・施設の貸出 										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	協同組合長野シーアイ開発センター				当該指定管理者の指定回数	3 回		
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	当該指定管理者の管理運営開始日	平成21年4月1日		
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)							

		利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		北部勤労青少年ホーム	人	30,183	28,711	16,883	19,309	114%	
		中部勤労青少年ホーム	人	24,970	24,940	16,486	16,041	97%	
		南部勤労青少年ホーム	人	25,810	24,398	12,886	11,995	93%	
		中高年齢労働者福祉センター	人	76,564	72,050	49,577	54,163	109%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休止したり、講座募集定員の制限を実施を継続。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用許可に関する業務 利用料金の収受に関する業務 施設、設備、備品の維持管理に関する業務 キャリア形成、再就職、就労支援等のための講座を企画実施 			新型コロナウイルス感染症感染防止のため、マスク着用が困難な運動系の講座や料理に関する講座を定員制限や中止とした。(令和2年度から継続)				
	自主事業	施設の設置目的に沿った事業内容とし、地域住民や利用者のニーズが反映された講座を開催する。			新型コロナウイルス感染症感染防止のため、マスク着用が困難な運動系の講座や料理に関する講座を定員制限や中止とした。(令和2年度から継続)				
サービス維持・向上の取組み (広報等)		<ul style="list-style-type: none"> 講座予約専用のホームページ上でインターネットによる予約(携帯電話も可能)を受けけることにより、利便性向上を図っている。 新聞の折込みチラシ、地区の回覧を活用して施設の活動をPRしている。 常に講座内容を見直して利用者の選択肢を広げることなどを通じて受講者を増やす取組みを行っている。 受講者が安心できるよう新型コロナウイルス感染症の感染防止策を徹底した上での講座開催としている。 							

3

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
		(2) 調査、会議等の内容	利用者アンケートを実施 ・回答者数 400人(4館合計) (1施設100人分×4施設)	
		(3) 調査、会議等の結果	主な調査項目 ・接客態度 良い 74.50%、どちらかと言えば良い 20.00%、どちらかと言えば悪い 1.50%、悪い 0.00%、無回答 4.00% ・施設管理の満足度 良い 55.25%、どちらかと言えば良い 34.50%、どちらかと言えば悪い 5.25%、悪い 0.50%、無回答 4.50% ・施設利用の感想 利用しやすい 52.75%、どちらかと言えば利用しやすい 30.50%、どちらかと言えば利用しにくい 3.00%、利用しにくい 1.50%、無回答 12.25%	
利用者からの要望・苦情等	(1) 良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> 親切、丁寧に対応してくれる。 明るい、あいさつが良い 講師がやさしく、わかりやすく指導してくれる。 施設は古いのが清掃等がされてきれいだと思う。 家から近くてよい など	4	
	(2) 苦情・改善等の要望事項	<ul style="list-style-type: none"> 融通がきかない 床暖房があればよい 洋式トイレを多く、2階にもトイレがほしい 講座目的に部屋があていない。フローリング・鏡のある部屋にしてほしい 座布団、畳が悪い 入口の段差がきつい など		
	《対応措置》	<ul style="list-style-type: none"> 床暖房、トイレ洋式化、フローリング、鏡のある部屋などの施設改修を要する要望について、勤労者福祉施設の再編の方針に沿った施設整備に向けた設計を検討していく。 南部勤労青少年ホーム入口の段差解消を実施済み(指定管理者が実施)。 		

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	20,734,000	利用料金	19,491,530	歳入	使用料	141,000	使用料	141,000
	指定管理料	61,560,000	指定管理料	61,560,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料	行政財産目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等			貸付料	貸付料		
	その他収入	990,000	その他収入	329,670		その他	その他		
	計	83,284,000	計	81,381,200		計	141,000	計	141,000
収入	人件費	45,577,000	人件費	46,019,492	歳入	指定管理料	61,560,000	指定管理料	62,235,000
	設備管理費	7,210,000	設備管理費	6,801,991		委託料	536,265	委託料	304,700
支出	備品購入費	0	備品購入費	0	歳出	需用費		需用費	
	修繕費	700,000	修繕費	285,780		役務費		役務費	
	光熱水費	4,590,000	光熱水費	4,517,720		使用料・賃借料	93,600	使用料・賃借料	93,600
	事業費	15,583,000	事業費	14,272,746		修繕費		修繕費	
	事務経費	1,526,000	事務経費	1,617,215		工事請負費	1,882,100	工事請負費	2,531,100
	本社経費	4,092,000	本社経費	4,092,000		備品購入費		備品購入費	
	その他	4,666,000	その他	4,004,637		その他		その他	
	計	83,944,000	計	81,611,581		計	64,071,965	計	65,164,400
自主事業	収入	6,080,000	収入	6,340,050					
	支出	5,720,000	支出	6,216,749					
	自主事業損益	360,000	自主事業損益	123,301					
損益		-300,000		-107,080	差引		-63,930,965		-65,023,400
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									56.4%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて☑で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	・勤労青少年ホーム3館 館長3人(3人)、常勤職員9人(9人) ・中高年齢労働者福祉センター 館長1人(1人)、常勤職員7人(7人)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☑	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☑	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☑	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☑	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 30

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	4	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内からの積極的な雇用を継続 ・市内事業者から積極的に物品を購入 ・地域行事へ参加することに加え、館主催行事の際は、地区内へチラシ配布や回覧を活用して参加を呼び掛けている。 	新型コロナウイルス感染症感染防止のため、地域行事に参加できず、館主催の「ホーム祭り」などを開催することができなかった。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価 68
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	4	8	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	4	8	
地域連携	3	6	
合計得点		68	

評価理由

アンケートの結果から、利用者とのコミュニケーションが良好である、接客態度、施設清掃などに高い評価を得ていることから「利用者評価」を4とした。
 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、講座定員の制限、施設の一時休館などにより、収入が減少している中、支出を抑制し、収支改善が図られていることから「事業収支」を4とした。
 ・新型コロナウイルス感染症感染防止に伴う対応については、検温、消毒、体調チェックなど基本的事項はもちろん、効果的な換気方法を掲示したり、講座も感染リスクをなるべく減らすよう対応しているほか、施設利用者の体調不良や負傷などによる救急搬送なども迅速に対応し、また、市担当課への報告も適切に実施していることから、「危機管理体制」を「4」と評価した。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新型コロナウイルス感染症感染防止策の徹底を図りながらも、なるべく多くの方が利用し、満足していただける施設を目指す。 ・受講者が少なく、中止になることが多い就労支援系の講座の集客にも力を入れる。 ・施設の老朽化が進行しているので、修繕にとどまらず、施設のあり方の検討を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策を徹底しつつ、感染対策レベルに応じた施設運営を行うことができた。 ・就労支援系の講座については受講者が少ない状況が続いている。 ・老朽化した勤労者福祉施設を一体として再編する方針を決定した。 	

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

勤労者福祉施設の再編方針に沿った施設の整備にあたり、利用者、関係者等の要望を把握するとともに、設計に反映を検討していく。新施設整備に併せ、既存施設の利用者への工事スケジュールの周知など、利用者へ配慮し整備を進める。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・新型コロナウイルス感染症に基づくキャンセルについては、全てキャンセルを可能とし、返金を行った。
- ・講座の再開については、葉書にてご案内し、漏れのないように対処した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座受講者は入口での検温、体調チェックを行った。
- ・お部屋の利用の際には、換気ができるように、扇風機の設置、換気方法の説明など徹底した。
- ・お部屋の利用の後は、机、椅子、ドアノブなどの消毒をし、換気のために30分以上の間隔があくよう利用者との協力をお願いした。
- ・感染防止のため、共用の器具の利用を停止し、スリッパについては、ご自身のものを持参するようお願いした。
- ・ご利用者を把握するため、ご利用者名簿の提出をお願いし、1ヶ月後には廃棄をした。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・講座受講者全員の検温、体調確認ができるよう、業務の進め方の見直しを行った。
- ・休館期間中、最小限の人員で施設の管理を行なった。
- ・換気をしながらの冷暖房の方法を図で示し、冷暖房効果をできるだけ損なわないようお願いした。
- ・貸館利用、講座受講に関するお願いを、書面を渡しながら口頭でも確認をおこなった。

③ その他

- ・安全対策の一環として、全館にAEDを設置し、取り扱いの訓練等を実施している。
- ・個人情報取り扱いをより良くするため、プライバシーマークを取得している。
- ・市内からの積極的な雇用を継続。
- ・市内事業者から積極的に物品を購入。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全に利用できるよう運営をしていきたい。
- ・経年劣化による設備の不具合などについては、計画的な更新、整備をお願いしたい。
- ・自主講座の内容を再検討し、安定して運営できるよう工夫していきたい。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設を休館することとなり、講座の一部が中止となった。講座の定員の変更などにより、運営費の負担が増え、収支がマイナスとなってしまった。国の支援により、マイナス幅を減らすことができた。

② 次年度以降の取組み

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組みを進めながら、講座の定員については、見直しを図りたい。
- ・主催講座、自主講座の内容を吟味し、安定的に運営できるよう取り組んでいきたい。